

新会長あいさつ



農業委員会会長
小原 富美雄

農業委員会を代表し一言ごあいさつを申し上げます。

28年4月から農業委員と農地利用最適化推進委員で構成される新しい体制となつて2年が過ぎました。農業を取り巻く情勢は、従事者の高齢化や担い手不足、耕作放棄地の増加など一層厳しさを増しております。そのため、農地の集積・集約化、荒廃農地の減少、優良農地の確保や新規就農の促進に努めてまいります。残任期間は約1年ですが、与えられた責務と役割を果たしてまいりますので、市民の皆さまのご協力をお願いいたします。

30年度事業計画を決定

第149回農業委員会総会が4月18日、本庁舎で開催され、本年度の事業計画を決定しました。
主な内容は次のとおりです。

〈事業内容〉

- ① 会議の開催
総会や運営委員会を開催し、重要課題の適正処理にあたる。
 - ② 研修および調査の実施
農地利用最適化の推進に取り組むため、研修を実施する。
 - ③ 関係機関との連携強化
 - ④ 広報、相談活動の強化
 - ⑤ 再生利用が可能な遊休農地の有効利用促進
「農地パトロール(利用状況調査強調月間)」を設定し、優良農地の確保とその有効利用に取り組む。
 - ⑥ 「農地の日」における実践行動の実施
 - ⑦ 関係機関に対する意見
農業者や地域農業の立場に立った施策を実現するための意見書を提出する。
 - ⑧ その他取り組む事業
- 農地調整事業
 - ◇ 農地法などに基づく審議
 - ◇ 農地の利用調整
 - 農地中間管理事業の支援
 - ◇ 贈与および相続に伴う納税猶予手続きの指導や助言
 - 農政活動事業
 - ◇ 「地域の農地と担い手を守り活かす運動」の展開
 - ◇ 「農業者等との意見交換会」の開催
 - ◇ 食育や食農の推進
 - 農業体験活動
 - ◇ 農業者年金業務事業
 - ◇ 農業者年金の加入促進

満開のリンゴ畑で 花摘み作業体験

食と農の大切さを子どもたちに伝え、農村文化を守るため5月6日、食育・食農体験活動が口内町の大小池果樹園で行われました。ゴールデンウィーク後半から悪天候が続き天気が心配されましたが、当日は快晴に恵まれ9組21人の小学生の親子が参加。白やピンク色の花が満開のリンゴ畑を見て歓声を上げていました。本年度の体験活動は今回と10月の収穫作業が企画されています。1回目の今回は花摘みと、リンゴに絵や文字を入れるためのシールの型を作る作業を行いました。花摘みは中心花のまわりの花を摘み取ることで、栄養を集中させ、より大きな実に育てるための作業です。



リンゴの花摘み体験



リンゴケーキを食べる子どもたち



リンゴに絵を入れるためのシールを作成中

作業の前に大小池果樹園の昆野広子農業委員から説明があり、残す中心花、除く側花の違いを教わり、手で摘んでいきました。作業の後には、昆野委員自家製のリンゴケーキを参加者全員でいただき、秋の収穫を楽しみにしながら解散しました。
(農業委員 伊藤 淳)

きたかみ農家
 紹介します

「農業は

面白いほうがいい」

やさいやねこのて

星隼人さん(41歳・鬼柳町)



育てた野菜を手にする星さん

す。青果店、洋菓子店、飲食店などに直接卸していて、人気の食用ほおずきは甘くてフルーティーと評判です。

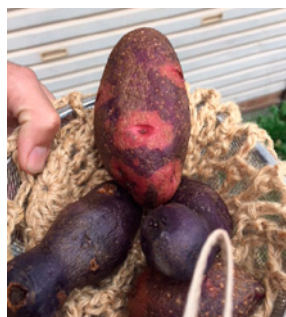
若い農業者によって組織されている北上4Hクラブに加入し、有機栽培に取り組んでは仲間も増え、独自の販路を拡大しました。「自分が面白いと思えるものを作り、楽しいと思えることをやっていきたい」と2年前から2カ月に1回、農産物や雑貨などさまざまなジャンルのお店が出席する「ノラマルシェ」を主催。出展者も増え、地域内外から常連客が集い、賑わいを見せています。

最近ではネット販売も開始し、将来は「農地も販路も更に広げ、早く農業だけで食べていきたい」と語ります。今心配しているのは、地元で耕作放棄地が増えていることだといいます。

地元を愛する若い農業者の力に期待しています。

(農業委員 遠藤 修子)

5年前に父親が体調を崩したことがきっかけで溶接工の仕事を辞め、青年就農給付金を受けて独立営農を始めた星さん。幼い頃から父親の農業を手伝ったことで得た知識や経験があったことと、田畑が無駄になると思い立ち、一念発起したそうです。



上：グランドベチカ (別称デストロイヤー)
 下：シャドウクイン

第1回北上市農業委員会
 全体会議

30年度第1回北上市農業委員会全体会議は4月24日、ブランニュー北上で開催されました。会議には、農業委員、農地利用最適化推進委員計45人が出席しました。

はじめに小原会長から「新体制になって3年目になります。更に農業委員と農地利用最適化推進委員が連携しながら業務を果たしていきたい」とあいさつがありました。

また、農業委員会から故佐藤幸太郎前会長への感謝状が家族へ贈られました。佐藤氏は、平成13年4月から、16年11カ月の間農業委員として在籍。25年からは会長職務代理者、28年4月からは会長として北上の農業の発展に尽力されました。

会議では、農業者が将来的に夢と希望を持って農業に取り組むことができる環境づくりの必要性を確認。与えられた責務と役割を十分に果たすため、定期的な会議の開催、研修および調査の実施など8項目の事業内容を決定しました。

(農業委員 高橋 多二)



感謝状を受け取る故佐藤前会長の家族

審議データ

農地の権利移転・利用権設定等審議内容

農地法	上段 審議件数 下段 面積(m ²)		
	3月	4月	5月
3条	5	3	1
	203,887	4,567	2,322
4条	3	0	1
	1,403	0	1,244
5条	12	11	12
	12,601	8,616	21,972
適用外証明	1	5	1
	683	1,448	30
農用地利用	349	98	33
集積計画	2,709,406	449,605	118,826

- ◎農地法3条…農地の所有権、賃借権などの権利を設定または移転する場合
- ◎農地法4条…自己所有農地を転用する場合
- ◎農地法5条…農地の所有権、賃借権などの権利を設定または移転して転用する場合
- ◎農地法適用外証明…農地を20年以上他の目的に使用しており農地の復元が不可能な場合
- ◎農用地利用集積計画…農地の所有権、賃借権などの権利を設定または移転する際に受け手が大規模農家の場合